

II 基本構想

1 現状と課題

(1) 教育を取り巻く環境の変化

少子高齢化、グローバル化、情報化などが一層進み、更に近年の新型コロナウイルス感染症の流行を契機とした価値観の転換や様々な課題に直面しています。一方、国際社会では、全ての人々がSDGsの理念を理解し、主体的に行動することが求められています。

また、私たちの今後の生活は、超スマート社会(Society5.0)実現に向けAIなど技術革新が急速に進展し、大きな変化を遂げようとしています。

このため、将来を担う子ども達には、個人や社会の多様性を尊重しつつ、幅広い知識・教養と柔軟な思考力に基づいて新しい価値を創造したり、他者と協働したりする能力等、社会を生き抜く力を育むことが求められています。

(2) 学校教育の現状と課題

学校においては、いじめ問題への対応、*特別支援教育の充実等、現代的な課題にこれまで以上に取り組んでいく必要があります。特に、いじめや暴力行為、不登校等の生徒指導上の諸課題の解決に向けては、児童生徒が日々の大半を過ごす学校での授業を通して、確かな学力を身に付けさせることに加え、自他のよさを認め合う人間関係づくりを進めていき、未然防止を図ることが重要です。また、新しい時代に対応するため、*ICTを活用した教育や*国際教育を充実していくことや、児童生徒一人ひとりの多様な個性・能力を最大限伸ばし、社会の中で活かすことができる教育環境の整備を今まで以上に進めていくことが必要です。

また、子ども達を取り巻く環境が複雑化、深刻化している状況を踏まえると、今後は、学校や家庭、地域、教育委員会等の教育に直接携わる者だけでなく、子ども達に関わる全ての関係機関が連携しながら、切れ目のない支援や取組を進めていくことが、今まで以上に重要となっています。

(3) 地域社会の現状と課題

地域においては、都市化、過疎化や家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化等により、地域社会の人間関係の希薄化や*セーフティネット機能の低下が指摘されているところです。このような社会においては、地域住民が、学習を通じて市民意識を高め、必要な知識・技能を身に付け、その成果を社会参画や社会貢献の活動につなげていくことが大切です。このため、行政が実践的な学習機会を提供し、地域住民の協働による地域課題の解決や地域の活性化などのまちづくりの取組を促進することが必要です。また、地域住民の意欲や力を引き出す*ファシリテーターの育成や地域住民が集ったり、必要な情報収集を行ったりする社会教育施設の確保も必要です。

2 基本理念

(1) 基本理念

基本理念

「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもち、未来を担う人づくり

第3期廿日市市教育振興基本計画では、第2期廿日市市教育振興基本計画でおおむね10年先を見通して定めた基本理念「『ふるさと廿日市』に愛着と誇りをもち、未来を担う人づくり」を引き継ぎ掲げます。

(2) 基本目標

本計画の基本理念の実現のため、分野ごとに基本目標を設定し、その目標を達成するために各種施策を展開します。

学 校 教 育 の 充 実

基本目標1

「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもち、社会を生き抜く力を育む学校教育の充実

社会が激しく変化する中で、次世代を担う子ども達が、「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもちつとともに、生涯にわたり、自ら学び、考え、協働して課題を解決する力を身に付けることができるように、「主体的に」、「協働的に」学ぶ取組を進めます。

社 会 教 育 の 充 実

基本目標2

自ら学び、学びにより人と人がつながり、まちづくりに寄与する教育の推進

個人や地域が抱える課題やニーズが多様化、複雑化する状況を踏まえ、関係機関と連携を密にし、現代的課題や社会的課題に対応した学習機会を充実するとともに、学習した成果を広く活用する仕組みを整え、地域の絆を大切にしまちづくりを進めます。

郷土の歴史や文化の継承

基本目標 3

受け継がれてきた歴史や文化の継承とふるさとに愛着と誇りをもつ心の育成

地域に受け継がれてきた歴史や文化を次世代につなげていくためにも、文化財の保護や幅広い活用に取り組みます。また、それらを積極的に活用した取組を充実することで、ふるさとに愛着と誇りをもつ心を育みます。

教育環境の整備

基本目標 4

一人ひとりの学びを支え、時代のニーズに応じた教育環境の整備

一人ひとりの多様な個性や能力を最大限伸ばすため、安心・安全な環境づくりを確保するとともに、老朽化している学校施設や社会教育施設等を計画的に改修していきます。また、市民の誰もが芸術文化やスポーツに親しみ、豊かな生活が送れるように、活動を支援します。

3 施策体系

